



「やはラヂ!」制作現場に突入〜!

取材・編集は職員が担当

番組の企画や取材、編集は町職員3人で行っています。町では取材した内容を編集して、ラヂもりへ渡します。ラヂもりは送られてきた音声データに音楽を追加するなど放送用の編集をして、30分の番組が完成し、皆さんのもとに届きます。

町民を主役に・旬な話題を

毎回放送のオープニングとエンディングは、放送日の前日または当日に収録しています。これは、視聴者からいただいた意見を参考に、その日の出来事や季節の話、矢巾町小話などの話題を放送し、身近で親しみを持ってもらう番組にするための取り組みです。

編集を担当する職員佐々木絵梨子さんは「町民が主役となるように、インタビューや紹介コーナーに力を入れていく」と心がけていることを話します。

委員会の意見を反映

番組をよりよいものにしていくため



やはラヂ!制作担当職員(左から佐々木絵梨子、篠村薫乃、菅原保之)

に、有識者や一般町民の方が委員の「矢巾町防災ラジオ行政番組委員会」があります。この委員の皆さんは、町民の代表として番組を聴いて感じたことを伝え、町番組放送の在り方について提言します。委員会の委員長である大縄真司さんは「町からの一方的な放送ではなく、町民の目線で、町民が本当に楽しめる番組になるように、委員会として提言したい」と話します。

放送するまでこんな作業をしています

1 企画

町民出演者や町内で開催されるイベントなどを探して、皆さんにお届けする情報を選んでいます。

3 編集

取材してきた音声データを編集。編集ソフトを使って必要な音声部分を切りとり、つなぎ合わせます。

2 取材

企画をもとに、出演者と日程を調整して、収録をします。収録は基本的に現地で行っています。

4 完成

編集が済んだ音声データやその日流す内容のデータをラヂもりへ送信し、放送用に最終編集します。



災害に備えてラジオを準備しましょう

「やはラジオ」は、町内に甚大な被害をもたらした平成25年8月の豪雨災害を始めとした気象災害や、国民保護事案の発生などを受けて、皆さんへ安心・安全をお届けするために誕生しました。

災害などの緊急時には、正確な情報が重要となりますが、携帯電話やスマートフォンが利用できなくなるほどの災害も、近年発生しています。電波を使用するラジオは災害に強く、東日本大震災では、通信手段が途絶する中、ラジオ放送が皆さんの情報源として活躍しました。

平常時は行政情報を始めとした情報源として利用できるほか、災害時には避難情報や給水・物資などの生活情報などの取得もできます。安心・安全のため、「やはラジオ」をぜひご利用ください。



平成25年8月9日の大雨被害で岩崎川が氾濫し住宅地が浸水(矢巾1区)



やはラジオの購入は役場3階総務課で!

行政番組「やはラヂ!」や緊急情報の放送の際に、自動起動する「やはラジオ」をお求めの方は、役場総務課防災安全室にお越しください。

- **受付時間** 午前8時30分～午後5時15分 ※平日のみ
- **必要なもの** 印鑑、代金(5,400円/台) ※窓口で申込書を書いていただきます。
- **問い合わせ** 役場総務課防災安全室 (☎ 611-2708)



【写真】左から「オープニング収録」「矢巾東小でおかえり放送収録前の練習」「収録した音声を編集中心」